



平成 28 年 6 月 17 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T B K
代 表 者 名 取 締 役 社 長 岸 高 明
(コード番号 7277 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 総 務 部 長 山 田 健 次
(TEL 042 - 739 - 1471)

取締役会の実効性に関する自己評価アンケートの結果について

当社は、下記のとおり取締役会の実効性評価のためのアンケート調査を実施し、平成 28 年 6 月 16 日の取締役会で報告を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1) アンケートの実施要領

対象者	取締役及び監査役の全員（取締役 6 名、監査役 3 名）
方式	記名式アンケート 各設問に対し、「1（悪い）」～「5（良い）」の 5 段階評価と自由記述
実施期間	2016 年 4 月～5 月

2) 評価結果の概要

(1) 経営全般に関する実効性評価

←良い 5 4 3 2 1 悪い→

Q1. 株主の権利・平等性の確保について

株主の権利と平等性を確保するため、情報の迅速かつ適切な開示、ホームページ上の株主向け情報や外国人投資家を配慮した情報開示、英文情報の拡充などが適切に行われているか。

22% (4点)	45% (3点)	33% (2点)
----------	----------	----------

(平均値=2.89)

【自由記述欄】

全体的に情報の拡充や見易さの改善が必要ではないか。また、議決権行使の電子化等についてはさらに議論していく必要があるのではないか。

Q2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働

持続的な安定成長と中長期的な企業価値向上のため、適切な数値目標の設定を含む中期経営計画の策定、進捗確認・分析、見直しが適切に行われているか。また、株主への利益還元は、その基本方針に基づき適切に行われているか。

(5点)			(2点)
11%	33% (4点)	45% (3点)	11%

(平均値=3.44)

【自由記述欄】

株主への利益還元は適切に行われている。しかし、中期経営計画の策定にあたり、取締役会の関与をもっと深める必要があるのではないか。

Q3. 適切な情報開示と透明性の確保

財務情報のみならず、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスなどの非財務情報など有用性が高い情報提供に取り組んでいるか。

		(2点)
33% (4点)	56% (3点)	11%

(平均値=3.22)

【自由記述欄】

リスク・コンプライアンス委員会の設置や内部監査の実施等の対応を始めている。株主・一般投資家向けの非財務情報の提供十分とはいえ、対応が必要ではないか。

Q4. 取締役会等の責務について

株主に対する受託者責任・説明責任を踏まえ、会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を促し、収益力・資本効率等の改善を図るべく、(1) 企業戦略等の大きな方向性を示すこと(2) 業績連動報酬など経営陣幹部による適切なリスクテイクを支える環境整備を行うこと(3) 独立した社外役員により、客観的な立場から、経営陣(執行役員を含む)・取

締役に対する実効性の高い監督を行うこと(4)取締役・監査役のトレーニング、次世代幹部候補の育成計画を策定することをはじめとする役割・責務が適切に果たされているか。

(5点) (4点)

11%	11%	78%	(3点)
-----	-----	-----	------

(平均値=3.33)

【自由記述欄】

社外取締役の選任など体制は整備され始めているが、緒についたばかりである。取締役会の監督機能の強化等、そのあり方について今後議論を深めていきたい。

Q5. 株主との対話について

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するため、株主総会の場以外においても、経営戦略や経営資源の配分、株主への利益還元方針などについて株主との間で建設的な対話が行われているか。

(5点) (4点)

11%	11%	67%	(3点)	(2点)	11%
-----	-----	-----	------	------	-----

(平均値=3.22)

【自由記述欄】

機関投資家への業績説明会や、工場案内を実施し相応の対話がなされていると考えている。今後取締役会においても対話の基本スタンス等について議論を深めていくことも必要ではないか。

(2) 取締役会の実効性に関する実質面の評価について

←良い 5 4 3 2 1 悪い→

Q6. 取締役会の規模(人員)と構成メンバーは妥当か

取締役会は、その役割と責務の実効性を果たすため、取締役会全体としての知識・経験・能力のバランス、多様性と適正規模が確保できているか。

(5点)

12%	44%	(4点)	44%	(3点)
-----	-----	------	-----	------

(平均値=3.67)

【自由記述欄】

社外役員が過半数を占めるなど、バランス、多様性、適正規模は保たれている。今後、外国人や女性の役員の参画も必要ではないか。

Q7. 取締役会意思決定プロセスの品質をどのように評価していますか

取締役会における、リスクの検証、個々の議案に対する議論の質(審議の時間や内容)、意思決定プロセスや権限の明確さをどのように評価していますか。

(2点)

33% (4点)	56% (3点)	11%
----------	----------	-----

(平均値=3.22)

【自由記述欄】

時間の制限もあり、取締役会の中で十分に審議が尽くされているとは言いがたい。議案の絞り込みや、勉強会による事前説明を行うなどの対応が必要ではないか。

Q8. 取締役会に提供される情報の品質について

審議に必要な十分な情報が、会日に先立って要点を把握しやすいように整理・分析された形で提供しているか。また専門用語などについてはわかりやすい説明が行われているか。

22%(4点)	33% (3点)	45% (2点)
---------	----------	----------

(平均値=2.78)

【自由記述欄】

事前に資料の配布や説明を行っているが、十分とは言えない。重要な議案の資料を当日渡されることもあり、議題の重要性を意識した資料配布・事前説明が必要ではないか。

Q9. その他 ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

取締役間で大きな課題・方向感を共有する場(形式に拘らず)を定期的に設けることを検討願いたい。取締役会だけでは十分な意思疎通は難しく、どうしても表面的な質問・意見とならざるを得ない。

上記の評価結果となりました。今後も取締役会の運営等の継続的な改善に努めてまいります。

以上